

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿…	A 健康な心と身体	B 自立心	C 協同性	D 道徳性・規範意識の芽生え	E 社会生活との関わり	F 思考力の芽生え
	G 自然との関わり・生命尊重	H 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	I 言葉による伝え合い	J 豊かな感性と表		

期	5歳児 9月～10月中旬	5歳児 10月中旬～12月	5歳児 1月～3月	
発達課題	自分の力を発揮し、友達と力を合わせて、活動に取り組む楽しさを味わう。	友達と共通の目的をもって、協力、分担しながら遊びに取り組む。	自分の力を十分に発揮し、友達と一緒に遊びや生活を進め、充実感を味わう。	
知識や技能の基礎 [感じたり、気付いたり、わかったり、できるようになったりすること]	A 戸外で体を動かす心地よさを感じ、友達と一緒にいろいろな運動遊びに進んで取り組む。 AB 健康にすごせるように、自分で水分補給や衣服の調節など、健康に必要な習慣を身に付ける。 A 食べ物に興味や関心をもち、食事の大切さを知り、マナーを守って楽しく食べる。 A 災害時の身の守り方が分かり、合図や指示に従って機敏に行動する。 F 自分たちで遊びの場を整え、身近に使う物を大切にし、丁寧に扱う。 F 身近な材料を使って自分の描きたいものや作りたいものを工夫して作る中で、物の扱い方が分かる。 G 様々な自然物を遊びに取り入れながら季節の変化に関心をもつ。	A 健康的な体づくりに関心をもち、手洗いうがいなどの必要感に気付き、健康な生活の習慣を身に付ける。 A 自分の目的をもち、いろいろな運動に挑戦したり、戸外での運動遊びに進んで取り組んだりする。 A 地震速報の放送の意味を理解し、遊びをやめて安全な場所に避難する。 E お月見、もちつきなど、日本の伝統的な文化に触れる。 F 身近な用具の適切な使い方を知り、遊びに生かす。 G 木々の紅葉、落ち葉の様子などを見て、季節の移り変わりを感じ、冬の動植物の様子に気付く。 G 秋の収穫を体験し、収穫した物を食べる喜びを味わったり、作物を作る人に感謝の気持ちをもったりする。	AB 風邪やインフルエンザの予防に関心をもち、手洗いうがいを自ら進んで行い、健康な生活についての意識を高める。 ABD 遊びや生活の中で安全に気を配り、友達と伝え合ったり、判断して行動したりする。 B こま回しや鉄棒など、自分なりの目的に向かって繰り返し挑戦することを楽しむ。 B 園生活の中で生活に見通しをもち、時間を意識して行動する。 B グループの中で役割を受けもち、目的をもって遊びや生活をすすめる。 D 園生活を通して自分で考えながら場面に応じて行動する。 E 正月、節分、ひな祭りなど、伝統的な行事にふれ、地域の人々や文化に親しみをもつ。 G 戸外に出て、木々や草花の様子を見たり触れたりし、季節の変化を感じる。 H 簡単な標識や文字、数、図形などに関心をもち、考えたり、日常生活に取り入れて使ったりする。	
	思考力・判断力・表現力等の基礎 [気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりすること]	C 様々な素材や用具を使い、友達と工夫して遊びに必要な物を作ることを楽しむ。 CD 自分たちで遊び方を考えたり、ルールを決めたりして、共通の目的に向かって活動する。 D 自分たちで進んで生活しようとするを楽しみ、やってよいこと、悪いことを自分で考えて行動する。 EF 興味のあることを調べたり考えたりする。 FG 身近な動植物にふれ、遊んだり観察したり調べたりして興味をもって親しむ。 FI 友達と情報を伝え合いながら、遊びや生活をすすめる中で、予想したり確かめたり振り返ったりして遊びを深める。 H 日常生活の中で数量・広さ・速さ・位置・時間に関心をもち、生活の中で使ったり遊ぶ。 IJ 体験したり、感じたりしたことを言葉や動きで表現することを楽しむ。 J リズムカルに表現したり、友達と表現を工夫して動いたりすることを楽しむ。	CD 友達とかかわる中で相手の思いや考えが分かり、共感したり振り返ったりして考える。 CI 友達とのやりとりを十分にし、思いを伝え合う。 FI 友達と思いや考えを伝え合い、試行錯誤して物との関わりを楽しむ。 FG 木の実や落ち葉などの自然物を使って遊びを楽しみ、素材の感触や物の性質などに気付いたり工夫したりする。 H 遊びの中で、文字を見たり使ったりするなどして、文字に関心をもつ。 HJ 生活の中の数量や図形などに関心をもち、自分たちの表現したいことを伝える手段として取り入れて遊ぶ。 IJ 友達と一緒に考えたことを遊びの中で表現したり、言葉で表現したりする楽しさを味わう。 I 絵本や物語に親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを通して、言葉で表現することを楽しむ。 J 友達といろいろな歌を歌ったり、楽器を使ったりして、曲の感じやリズムの変化を楽しみ、感じたことを表そうとする。	BC 自分たちの生活の場を皆で協力して作り出し、使いやすく整えたり飾ったりする。 CIJ 絵本や童話に親しみ、物語の世界を想像して演じて遊んだり、友達と表現する楽しさを味わったりする。 CIJ 友達と考えを出し合いながら劇遊びに取り組み、劇遊びに必要な物を工夫して作ったり、感じたことや考えたことを動きや言葉で表現することを楽しむ。 F 友達と一緒に身近な環境に関わり、予想したり確かめたり振り返ったりする。 FJ 生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れた経験を基に、友達と一緒に考えながらいろいろな表現を楽しむ。 G 冬の身近な事象や自然に関わり、その感触や不思議さに感動したり、それらを取り入れたりして遊ぶ。 I 考えたことや感じたことを相手に分かるように話したり、話の内容を理解し、注意して聞いたりする。 IJ 様々な出来事の中で、イメージを膨らませ、感動したことを言葉や歌、絵など様々な方法で表現し、伝え合う。 J 音楽に親しみ、感じたこと考えたことなどを音やリズム、動きで表現したり工夫したりする楽しさを味わう。 H カルタ等を使った遊びや名前を書く経験を通して、言葉や文字で表す楽しさを味わう。
	学びに向かう力・人間性等 [心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとすること]	AB 自分の力を出し、競い合ったり応援したりして、体を動かして遊ぶ満足感を味わう。 AD 友達と積極的に体を動かす活動に取り組む、ルールを守って一緒に遊ぶ充実感を味わう。 C 数人の友達と役割を分担したり、力を合わせたりして遊びや生活に意欲をもつてすすめる。 CI 友達との関わりの中で、相手の気持ちに気付き、受け入れたり自分の思いを伝えたりする。 G 身近な動植物の命の大切さに気付き、関わったり世話をしたりする。 IC 体験したことや気付いたことなどを友達の前で発表したり、友達の話に興味をもって聞いたりする。 I 友達と遊ぶ中で、相手の得意なことや頑張っていることに気付く。	CD 遊びの進め方を友達と話し合い、協力したり、きまりを守ったりして取り組むことを楽しむ。 CJ 様々な素材や用具を使って、友達と協力しながらイメージを広げて遊ぶことを楽しむ。 CJ 曲想を感じたり、気持ちを込めて歌ったりして、皆で音楽を楽しむ。 CI 友達と遊んだり競い合ったりする中で、友達の得意なことやよさに気付き、言葉で伝えようとする。 E 自分の生活に関係の深い情報や地域の人々に関心をもって関わり、心を通わせる。 E 様々な年代の人たちに親しみをもち、触れ合って遊ぶ中で、憧れの気持ちをもつなど豊かな経験をする。	B 修了する喜びを感じ、5歳児としての自覚をもって行動する。 C クラスの皆で目的や願いを共有し、必要な情報を得て、問題解決のために工夫したり協力したりして、やり遂げようとする。 CE 様々な友達のよさに気付き、互いに認め合いながら生活や遊びを進めていくことを楽しむ。 CF トラブルや困ったことを自分たちで解決して行こうとする。 CH 生活に見通しをもって友達と過ごしたり、時間を意識したりしながら、自分たちの生活を自分たちで進める意識をもてるようにする。 E 生活を共にしてきた友達や年下の幼児や身近な人々と心を通わせ、大きくなった喜びを味わい、感謝の気持ちをもつ。 E 高齢者や身近な人々との関わりを通して親しみをもって心を通わせる。 E 行事に参加する中で、国旗に親しむ。
幼児の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・広い場所でのびのびと体を動かしたり、学級や学年の友達と力を合わせて取り組んだりする…リレー、リズム、綱引き、ロープ引き、係活動、旗作りなど ・友達と考えを出し合いながら遊びをすすめる…ごっこ遊び、砂遊びなど ・自然物を遊びに取り入れて楽しむ…色水遊び、虫とり、種取り、木の実集め(ドングリ、メタセコイアの実)など ・自分の経験を遊びに活かす…プール遊び、虫作り、折り紙、身体表現(海、花火)など 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりに目的をもって取り組む…縄跳び(長縄・短縄)、鉄棒、こま回し、たこ作り、クリスマスの飾り作りなど ・友達と考えを伝え合って遊ぶ…ごっこ遊び、お話作り、楽器遊びなど ・数人の友達とルールを考えたり守ったりしながら一緒に遊びを進める…鬼遊び、リレー、ドッジボールなど ・学級やグループの友達とのつながりを楽しむ…歌、合奏、表現遊びなど ・様々な年代の人と触れ合う…保育園児、小学生、中学生、高校生と遊ぶ、もちつき、など ・秋の自然に親しむ…落ち葉で遊ぶ、木の実集め、球根植え、大根抜き、サツマイモ掘り、焼き芋パーティーなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりに目的をもって取り組む…こま回し、縄跳び、鉄棒など ・互いのよさを認め合う…友達のよいところを話す、得意なことを教え合う ・日本の伝統的な行事や遊びを友達と誘い合って楽しむ…こま回し、カルタ、すごろく、羽根つき、福笑い、あやとり、お手玉など ・自然に触れ、変化に気付く…氷作り、雪遊び、霜柱探し、春を見つける(芽吹き、つぼみ、開花、春風や日差し)など ・友達と考えを出し合い表現する楽しさを味わう…劇遊び、歌、合奏、リズム遊び、共同製作など ・見通しをもって生活する…一日の流れ、一週間の予定表、修了までのカレンダーなど ・修了、就学への自覚や期待をもつ…小学校見学、交流給食、修了製作、大掃除、作品整理など ・地域の方へ感謝を伝える…花届けなど 	
幼小連携の具体的な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の校庭へ散歩を兼ねて歩いたり、校庭を利用して活動を行うことで、間接的な交流の機会が得られるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生が学校行事(学芸会、作品展、音楽会)に取り組んでいる様子を見学する。 ・小学2年生との交流を行い、自分の思いを聞いてもらったり、一緒に遊んでもらったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校見学、授業参加参観、交流給食等、小学生と交流しながら学校生活を体験し、就学への喜びや期待をもつ。 	
環境の構成 教師の援助	<ul style="list-style-type: none"> ◇遊びの中で、体の様々な動きが体験できる活動が生まれるような環境を安全に配慮して構成する。 ◇数人の友達と思いを出し合いながら活動を進められるような場を用意する。 ◇やってみたい、できるようになりたいという興味や意欲を大切に、年長児として役割をやり遂げた達成感を認め、自信がもてるようにする。 ◇一人ひとりの成長を認め、試したり、挑戦したりしながら自分の力を発揮して遊ぶ楽しさを味わわせる。 ◇日々の様々な出来事について一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、場面や機会を捉えて周囲の仲間伝えたり、学級の友達と考えたりできるようにする。 ◇クラスの一人ひとりが大切な仲間であり、かけがえのない存在であることを機会を捉えて気付いていけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇個々の活動への多様な取り組み方を受け止め、知的好奇心や探究心が満足できるように、環境の構成を工夫していく。 ◇保育室の掲示物や視覚的な環境を工夫し、文字や数字等への関心を高められるようにする。 ◇秋の自然に十分に親しむとともに、収穫したり味わったりする機会をもつ。 ◇初冬の自然に触れ、自然物を生かしていろいろな表現を楽しめる機会を作る。 ◇クラスの中で一人ひとりの良さを認め合い、幼児同士のつながりがさらに深まるようにする。 ◇自分たちで遊びに必要な場をつくり、目的に向かって考えたり工夫したりしながら充実感をもてるようにする。 ◇自分たちで考えて進めていく活動を通して、自己を発揮したり、気持ちをコントロールしたりできるように援助する。 ◇幼児同士がそれぞれのよさを認め合える場面を作ったり、友達のよさに気付いた幼児に共感したりして、互いに認め合う学級の雰囲気をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇冬の自然と触れ合えることを大切に、試したり、発見したり、考えたりできる場を整える。 ◇小学校生活に向けて場や時間に即した行動ができるように、一日の生活の流れや修了までの予定を掲示し、意識したり見通しをもったりできるように配慮する。 ◇保育室などに、文字や数字に関心をもてるような環境をさらに整備し、生活や遊びの中で文字や数字にかかわる機会を多くもてるようにする。 ◇数人の友達と一緒に、あるいは学級全体で、今までの経験を生かして表現したり、創意工夫したりすることを楽しめるような活動に取り組む機会をつくり、一人ひとりが自己発揮したり、共同する楽しさを味わったりして、充実感を味わえるようにする。 ◇できるようになったことや一人ひとりのよさを学級の中で互いに認め合いながら、一人ひとりが自信をもって修了できるように自己肯定感を高めていく。 ◇自分たちが誇りにしてきた5歳児としての役割を4歳児に分かるように伝達したり頼んだりして、修了への意識につなげていく。 ◇修了までの時間を大切に、園生活を振り返り、仲間という楽しさや友達と過ごす心地よさを幼児達とともに味わう。 	